

(社)横浜市工業会連合会企業様限定

LED照明と導入費用すべて無料



アサヒカルピスビバレッジ(株)の経費削減お役立ち企画 LED照明無料

アサヒカルピスビバレッジ(株)の自動販売機新規導入でLED照明が無料!

経費削減お役立ちポイント

- 1 自動販売機1台で平均45本のLED提供 ※1
- 2 LED照明の設置工事も無料
- 3 5年後のLED照明は無料譲渡 ※2
- 4 5年間の商品保証付き
- 5 売上手数料はお打合せにより決定 ※3

※1 諸条件により提供本数が異なります。ご対応できない場合がございます。
 ※2 自動販売機の設置契約期間は5年となります。
 ※3 販売価格、売上本数等によりご相談の上、お支払い金額を決定させていただきます。

アサヒカルピスビバレッジ(株)が
貴社の省エネ活動に
ご協力致します!



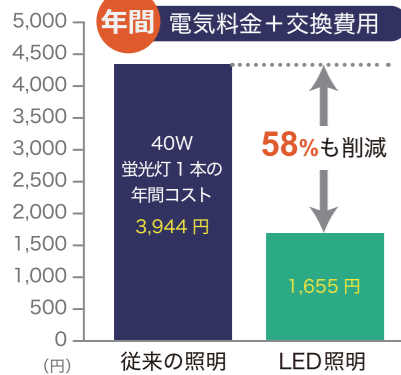
年間導入実績

370

件以上

※2014年1月~12月サンコーライテック実績

- ▶ 某大手工場様
- ▶ 某病院様
- ▶ 某大手飲食チェーン店様
- ▶ 某タクシー会社様
- ▶ 某大手製造加工業様



前提条件

蛍光灯	46W (FLR40W)
LED照明	20W (CW-DIM502C)
稼働日数	25日
点灯時間	12時間
設置本数	45本※
電力単価	23円

1年で 約10万円のコスト削減

5年で 約51万円のコスト削減

※電力使用量が多い場所へのLED化をご提案致します。予備蛍光灯の手配や保管も不要となります。

よこはま市工連

一般社団法人 横浜市工業会連合会



市工連事業紹介：新入社員合同研修会
会場：帆船日本丸

ご質問・お問い合わせ先

その感動を、わかちあう。



☎ 03-5619-5673 ✉ yasunari.nakajima@asahiinryo.co.jp

営業担当：市場開拓部 中島(なかじま)

〒130-8602 東京都墨田区吾妻橋 1-23-1
アサヒグループ本社ビル



発刊日 平成27年7月15日
 編集・発行 一般社団法人 横浜市工業会連合会
 〒231-0023 横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル2階
 TEL.045-671-7051 FAX.045-671-7321
 URL:http://www.y-shikouren.or.jp/

No.72

横浜市 事業計画 **経済局ものづくり支援課 関連の主要事業**

中小企業新技術・新製品開発促進事業（SBIR） 1億4,112万円

- (1) 中小企業新技術・新製品開発促進助成《募集終了》
新技術・新製品開発等を行う中小企業の方に、研究や開発に取り組むための経費を助成します。
- (2) 販路開拓支援事業《募集終了》
優れた商品・技術に対し、販促活動にかかる経費を助成するとともにテクニカルショウヨコハマへの無料出展など、販路開拓の支援を行います。
【お問合せ：経済局ものづくり支援課 TEL:045-671-2567】



中小製造業設備投資等助成 1億6,779万円

中小製造業設備投資等助成
中小製造業の方が行う生産設備への投資や、工場の新築・増築にかかる経費について助成します。
【お問合せ：経済局ものづくり支援課 TEL:045-671-3490】



中小企業支援コーディネート事業 3,950万円

コーディネーターが中小企業を訪問し、技術力などの把握をとおして、大手企業や研究機関との技術連携や技術移転による、製品開発や販路開拓を支援します。
個別のマッチングに加え、中小企業と大手・中堅企業とを一堂に会した集団マッチング会を開催し、より多くの企業に連携の機会を提供します。
【お問合せ：(公財)横浜企業経営支援財団経営支援部技術支援課 TEL:045-225-3709】



チーム de ものづくり応援事業 251万円

市内中小製造業を中心としたグループが行う販路拡大や新分野進出等に必要な取組に係る経費を助成します。
【お問合せ：経済局ものづくり支援課 TEL:045-671-2597】



拡充事業

中小企業女性活躍推進事業【拡充】 1,200万円

中小企業で働く女性の活躍を推進するため、経営者層の意識啓発につながるセミナーを実施します。また、指導的な役割を担う女性社員を育成するワークショップを新たに開催します。
就業規則の変更等の制度改革や、専門家によるコンサルティングに加え、女性用トイレや更衣室等女性専用設備の整備等にかかる経費についても助成対象とします。
【お問合せ：経済局経営創業支援課 TEL:045-671-3828】

目次

平成27年度経済局ものづくり支援課関連主要事業……………	2	地域工業会だより横浜西部工業会……………	13
平成27年度市工連役員の紹介……………	3	〃 磯子事業会……………	14
平成27年度横浜市産業振興に関する要望についての回答…	5	〃 金沢区工業団体連絡会……………	15
地域工業会だより鶴見区工業会……………	8	〃 (一社)横浜北工業会……………	17
〃 神奈川工業会……………	9	〃 戸塚泉栄工業会……………	18
〃 みなと工業会……………	10	横浜青年経営者会だより……………	19
〃 南工業会……………	11	新入社員合同研修会……………	20
〃 港南区工業会……………	12		

市工連 事業計画 **市工連役員の紹介**

元横浜市工業会連合会会長 岩宮 浩 様におかれましては、平成27年6月8日ご逝去されました。(享年86歳)
本会の設立時の副会長として、その後長く本会の会長としてご尽力をいただきました。謹んで哀悼の意を表します。



平成27年6月25日(木)ホテル横浜ガーデンにて平成27年度定時総会・第1回理事会が開催されました。平成26年度の事業報告・決算の審議に加え、地域工業会の役員改選等に伴う市工連理事の選任、役員の選任が行われました。



- (総会・理事会)
- 第1号議案 平成26年度事業報告について
 - 第2号議案 平成26年度決算について
 - 第3号議案 平成27年度補正予算について (総会)
 - 第4号議案 理事の選任について (理事会)
 - 第4号議案 副会長・専務理事の選任について
 - 第5号議案 平成27年委員会の委員について
- を審議・承認されました。



その他「平成27年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書の回答について」経済局近藤ものづくり支援課長から説明を頂き、了解を得ました。

市工連役員

役職名	氏名	工業会・役職	事業所・役職
会長	榎本 英雄	金沢区工業団体連絡会副会長	海洋電子工業(株)代表取締役社長
副会長	山崎 晃	磯子事業会会長	三共技研工業(株)代表取締役
〃	加藤 卓郎	みなと工業会会長	(株)加藤組鉄工所 取締役社長
〃	斎藤 隆正	南工業会会長	(株)ワイシー・ドキュメント 取締役顧問
〃	黒田 憲一	戸塚泉栄工業会会長	大洋建設(株)代表取締役社長
〃	寺嶋 之朗	鶴見区工業会会長	プリンス電機(株)代表取締役社長
理事	田中 修	神奈川工業会副会長	メルビック電工(株)代表取締役会長
〃	稲村 直之	港南区工業会会長	(有)稲村建具 代表取締役
〃	遠藤 昇	横浜西部工業会会長	横浜ステンレス工業(株)代表取締役会長
〃	秋本 順生	(一社)横浜北工業会会長	ニッパ(株)代表取締役会長
〃	近藤 芳正	横浜青年経営者会会長	(株)ミカワ精機 代表取締役
〃	林 琢己		横浜市経済局長
専務理事	茂木 三四郎		(一社)横浜市工業会連合会 専務理事
監事	猪鼻 久義		猪鼻会計事務所
監事	佐々木 俊輔	みなと工業会理事相談役	(株)佐々木鉄工所 代表取締役会長

市工連委員会

委員会	役職	氏名	事業所・役職
総務委員会	委員長	黒田 憲一	大洋建設（株） 代表取締役社長
	副委員長	遠藤 昇	横浜ステンレス工業（株） 代表取締役会長
	委員	寺嶋 之朗	プリンス電機（株） 代表取締役社長
	委員	田中 修	メルビック電工（株） 代表取締役会長
	委員	早坂 貴則	古河電気工業（株）横浜事業所 総務課長
	委員	横山 敦子	（株）カンザイ 代表取締役
	委員	鈴木 清	港南テクニクス（株） 代表取締役
	委員	福久 正毅	新興プランテック（株） 執行役員総務・人事部長
	委員	沼田 昭司	（株）沼田商会 代表取締役社長
	委員	金本 光雄	（株）万倉商事 代表取締役
委員	山崎 一	（株）山喜 代表取締役	
政策委員会	委員長	加藤 卓郎	（株）加藤組鉄工所 取締役社長
	副委員長	松村 洋一	協立金属工業（株） 代表取締役社長
	委員	和田 晃	東洋電装（株） 代表取締役
	委員	桐ヶ谷修幸	（株）桐ヶ谷工業所 代表取締役
	委員	井上 芳雄	古河電工パワーシステムズ（株）横浜事業所 部長
	委員	山中 清隆	千歳自動車工業（株） 取締役
	委員	達知 剛志	（株）プレスビット 代表取締役
	委員	栗原 敏郎	（株）大協製作所 代表取締役社長
	委員	山下 規	（株）I H I 横浜事業所 総務部長
	委員	安永 平雄	一幸電子工業（株） 代表取締役社長
事業・企画委員会	委員長	斎藤 隆正	（株）ワイシー・ドキュメント 取締役顧問
	副委員長	田中 宏和	日本自働精機（株） 代表取締役社長
	委員	松尾 文明	（株）松尾工務店 代表取締役社長
	委員	岩澤 敏治	（株）メディカルパワー 代表取締役
	委員	中村 正親	豊正工業（株） 代表取締役
	委員	花園美和子	朝日生命保険（相）上大岡営業所 管理部長
	委員	井上 博海	恵積興業（株） 代表取締役会長
	委員	越智 勉	（株）東芝横浜事業所 総務安全担当G長
	委員	黒岩 順一	（株）羽後鍍金 取締役会長
	委員	平良 重男	東京プロト（株） 代表取締役
広報・産学委員会	委員長	加藤 高智	（有）工研 代表取締役
	副委員長	寺嶋 之朗	プリンス電機（株） 代表取締役社長
	委員	見上 博一	見上工業（株） 代表取締役
	委員	山本 公彦	（株）丸屋神奈川製作所 代表取締役
	委員	関 曙慶	曙建設（株） 代表取締役会長
	委員	島田 秀世	（有）松島旅館 代表取締役
	委員	橋爪 重信	新倅機材（株） 代表取締役
	委員	寺井 享	寺井印刷工業（株） 代表取締役
	委員	宮原 史郎	東京ガス（株）根岸LNG基地 総務部長
	委員	横山 雅行	平和産業運輸（株） 代表取締役社長
雇用・環境委員会	委員長	加藤 豊	第一カーボン（株） 代表取締役
	副委員長	渡辺新一郎	（株）日立製作所ITプラットフォーム事業本部 総務部長代理
	委員	大飼 啓	（株）東邦製作所 専務取締役
	委員	山崎 晃	三共技研工業（株） 代表取締役
	委員	久保田耕二	久保田建設（株） 代表取締役
	委員	千葉 護	（株）京南 代表取締役
	委員	加藤 勝久	ヤシマ食品（株）横浜本社 代表取締役
	委員	石川 隆	石川精機製作所（株） 代表取締役
	委員	成澤 宏	（医社）成澤会清水橋クリニック 事務局長
	委員	原 信吾	日鉄工営（株） 代表取締役
施策検討会	委員長	矢矧 光雄	（株）村山製作所 代表取締役
	副委員長	大瀬 英暉	大瀬工業（株） 会長
	委員	佐藤 公悦	トーレック（株） 代表取締役
	委員	笠 邦弘	（株）ブリヂストン横浜工場 総務部長
	委員	近藤 大輔	（株）ハルツ 代表取締役
	委員	坂本 宏夫	三栄工機（株） 代表取締役
	委員	北瀬 裕明	東京電力（株）鶴見支店 支店長
	委員	桐ヶ谷修幸	（株）桐ヶ谷工業所 代表取締役
	委員	柳田 政之	（株）柳田エンジニアリング 代表取締役
	委員	平野 裕之	（株）平野製作所 代表取締役
総務委員会	委員	安田 芳郎	（株）安田製作所 代表取締役
	委員	安澤 芳生	協同工業（株） 代表取締役社長
	委員	保倉 敬彦	日清オイリオグループ（株）横浜磯子事業場 副事業場長
	委員	真鍋 緑朗	アールテック（株） 代表取締役社長
	委員	荻野 伸夫	相互電機（株） 代表取締役
	委員	金子 一彦	三宝精機工業（株） 代表取締役社長
	委員	加藤 高智	（有）工研 代表取締役
	委員	大飼 啓	（株）東邦製作所 専務取締役
	委員	近藤 芳正	（株）ミカワ精機 代表取締役

平成27年度



横浜市産業振興に関する 要望についての回答

市工連では昨秋、市の予算編成にあたり、横浜の産業振興を図るための政策提言並びに要望書を提出し、実現に向け要請を行いました。この度、市当局より回答がありましたので回答を掲載致します。なお、紙面の都合上、要望事項は見出しのみ掲載となります。

《重点要望》

1 成長分野育成ビジョンへの参画誘導について

【回答】横浜経済を取り巻く環境が著しく変化する中で、中小企業においても、新技術、新製品開発、販路拡大、新分野進出等により、さらなる成長を図る必要があると考えています。本市では、平成25年度に「成長分野育成ビジョン」を策定し、特に成長が見込まれる分野を明確にしたうえで、企業、市民の皆様との共有を進めてきました。しかし、企業の中には、成長分野への進出に意欲はあるものの、情報やノウハウが十分ではないとの理由により、新たなチャレンジにリスクを感じるなどのご意見がありました。このような課題に対応するため、平成27年度から成長分野をはじめとする新分野への進出を目指す中小製造業を対象とし、進出事例の紹介や専門家によるコンサルティングを通じ、新分野へのチャレンジを支援することにより競争力強化を後押ししていきます。

2 テクニカルショウヨコハマの発展

【回答】テクニカルショウヨコハマは、長年にわたり新たなビジネスチャンスを提供する場として、地域の企業の皆様にしっかりと定着していると考えています。しかし、近年、首都圏で様々な展示会等が開催されるようになったこと等により、改めて魅力のある開催のあり方が問われていると認識しています。今後のテクニカルショウヨコハマは、地元企業にとって、さらに価値のあるものとするため、主催者間で協議の場を設け、様々な検討を進めたいと考えますのでご協力をお願いします。

3 工事の適正な入札価格について

【回答】予定価格の設定は、資材単価は年4回の定期改定のほか、主要資材を毎月調査し大きな変化があれば臨時改定を行っています。また、公共工事設計労務単価は、国が平成27年2月に改定しましたので、本市も特例措置を用いるなど新単価を2月から適用しています。

4 横浜市発注の公共事業の市内中小企業者への優先発注の継続

【回答】本市発注は、事業内容に応じ、分離・分割発注等を徹底していくことにより、市内中小企業者の受注機会が増大するよう最大限努力していきます。また、入札の公平性、競争性に配慮しながら、市内中小企業限定入札も実施しています。

5 企業が連携して行う受注開拓への支援

【回答】企業間連携については、平成26年度から「チームdeものづくり応援事業」として、新たな事業展開や販路拡大を目指す中小製造業のグループ活動を支援する事業をスタートしています。今後も引き続き、本制度の定着と利活用の促進を図っていきます。

6 横浜のものづくり企業が受注する機会の増加

【回答】平成22年に制定された中小企業振興基本条例に基づき、市内中小企業者の受注の機会の増大に努めています。また、貴団体と連携して開催している受発注商談会等を効果的に開催するとともに、積極的に企業誘致を行い、進出した企業と市内中小企業との取引拡大につながる取組を推進します。なお、中小企業支援コーディネート事業については、引き続きより多くの企業にマッチングの機会を提供できるよう進めていきます。

7 地域貢献起業、知財みらい事業などの認知度向上

【回答】地域に貢献している企業や知的財産を活用している企業など、市内中小企業を対象として様々な認定制度を実施し、これまでも本市広報パンフレットやホームページなどで認定企業のPRを行っています。平成26年度からは、総合的な展示会の際に、横浜知財みらい企業と共同でブースを出展するなど、認知度の一層の向上を図っています。引き続き、事業及び認定企業の認知度向上の取組を強化していきます。

8 地域貢献企業へのインセンティブの追加

【回答】認定企業に対しては、地域貢献活動に積極的に取り組んでいただいていることを踏まえ、更なる地域貢献活動の取組や成長発展を促すため、各種認定メリットを付与しています。平成26年度からは、経営コンサルティングメニューの利用料優遇、助成制度「中小製造業設備投資等助成」利用の資格要件緩和、本市公共工事の入札における総合評価落札方式の加点対象とすることを追加し、さらに認定メリットの拡充を図っています。引き続き、認定制度の魅力を高めるためにも、認定メリットの拡充の検討を行っています。

9 受発注マッチング事業の継続実施

【回答】受発注商談会の開催は中小企業の受注拡大に大きな効果があると考えています。今後も、主催者である貴団体とともに、ビジネスチャンスの創出、取引の促進を図るため、継続して開催していきます。

10 横浜に進出する企業に対する優遇措置

【回答】「横浜市企業立地等促進特定地域における支援措置に関する条例」については、適用期間を延長するとともに、助成率や助成金上限額などの拡充を行いました。また、引き続き、トップセールスのほか企業誘致セミナーなどの開催、個別企業訪問による横浜への移転の働きかけなど、積極的に企業誘致活動を行っていきます。

11 工業系地域の活性化、安定した操業の確保

【回答】中小製造業の操業環境を可能な限り保全していくことは、本市の産業政策上必要不可欠なことであると認識しています。

平成27年度は、内陸部工業集積地域の土地利用の現状や立地環境等を把握するため、アンケートやヒアリングによる実態調査を実施します。

- （1）「大規模土地取引の事前届出制度」及び「横浜市工業地域等共同住宅指導基準」の二つの制度を引き続き適切に運用し、土地所有者や建築主等に趣旨を丁寧に説明するなど実効性の確保に努めていきます。
- （2）「大規模土地取引の事前届出制度」を活用し、土地取引の6か月前までに事業所の移転や撤退などの情報を収集し、市の考え方を土地所有者等に伝えることにより、工業集積の維持や土地の適正な利用等を図っています。
- （3）中小製造業設備投資等助成制度において、工業系用途地域に移転を行う企業を対象に、土地・建物の取得費等に対する助成を行っています。また、企業立地促進条例については、適用期間を延長するとともに、助成率や助成金上限額等の見直しを行いました。上記の制度等を活用しながら、引き続き企業立地を促進していきたいと考えています。
- （4）相隣関係をめぐる操業環境の維持向上のための支援のあり方については、貴団体をはじめ多方面からのご意見を伺いながら、検討していきたいと考えています。
- （5）地域への理解を深めるための取組としては、経済局や一部区役所、地域工業会でもすでに実施しているところですが、引き続き貴団体とその会員である地域工業会の皆様と連携し進めていきます。

12 市街地域におけるものづくり産業に対する支援

【回答】中小製造業設備投資等助成制度のうち、設備投資に対する支援は、平成25年度に拡大した助成対象地域を平成27年度も維持しています。

その他の支援における助成対象地域は、各制度の趣旨や関係法令等を踏まえながら、引き続き検討していきます。

13 工場緑化部分に課される税の減免など、諸規制の対応への支援

【回答】工場立地法に規定する特定工場は、同法に基づく緑地面積率に加えてさらに5%以上の緑化を行い、一定の要件を満たす場合には、上乘せ部分の面積に応じて固定資産税及び都市計画税が軽減されます。工場の緑化については、本市の緑化施策や関連制度等との総合的な調整が必要と考えています。

14 金沢臨海産業団地における土地利用態勢・将来ビジョンの再構築

【回答】臨海南部の工業地域（鳥浜工業団地・金沢産業団地）の立地企業が、集積メリットを実感し、そのメリットを高めていけるよう、地元企業団体及び関係部局で連携し、活性化に向けた取組を進めていきます。また、同エリアは、「成長分野育成ビジョン」において、「医療関連企業・研究開発機能の集積」を促進する地域としての役割が求められていることから、医療関連企業や研究開発機能の集積に向け、課題や方策などの調査検討を行います。

15 人材確保、育成について

【回答】「よこはま就労支援プログラム」では、市民向けの総合案内窓口「横浜市就職サポートセンター」を設け、就労支援に関する施設や事業を案内しています。そのほか、個別相談で支援方法を決定後、就職支援セミナーやインターンシップなどそれぞれの必要性に応じた支援メニューを組み合わせて提供することで、就職相談から就職後の定着支援まで、一貫したサポートを実施しています。さらに、合同就職面接会などによる求職者と企業の採用担当者との面談の場を引き続き提供していきます。なお、中央職業訓練校では、一般の離職者やひとり親家庭の親等を対象とした職業訓練を引き続き実施し、求職者の就労に向けたスキルアップ等を図り、求人企業とのマッチングがスムーズに進むよう支援を行います。

また、中小企業において、女性が継続的に働き続けられるよう環境を作ることは、ひいては男女を問わず働きやすい職場環境づくりにつながり、中小企業の成長と市内経済活性化につながる重要なことだと考えています。そこで、平成26年度から、就業規則の見直しや専門家によるコンサルティング等女性活躍推進にかかる取組費用の一部助成等を行う事業を開始しました。今後も引き続き、助成内容の拡充（女性専用設備の設置費用も対象とする等）など施策の充実を図り、女性が活躍しやすい職場環境づくりを後押ししていきます。

16 助成制度対象業種の拡充について

【回答】「中小製造業設備投資等助成制度」は、中小製造業の経営基盤の安定・強化を図るという制度の目的を鑑み、助成の対象は製造業のみとしています。

一方で、「中小企業新技術・新製品開発促進事業（S B I R）」では、申請者の要件として、これまでも産業分類上での業種の制限は設けておらず、IT開発等ソフト

事業等における研究開発も助成対象としています。

17 中小企業支援制度の運用について

【回答】（1）支援制度の広報は、説明会の開催やホームページなどに加え、貴団体から情報を提供させていただくなど、ご協力に感謝しています。今後も様々な機会を捉え、引き続き本市施策の周知を図っていきます。（2）補助金等の申請手続きについては、各企業の皆様の現状を具体的に把握し、交付の目的に合致するか等を確認するために必要な手続となっています。企業の皆様の負担を軽減し、制度をご活用いただけるよう、手続きの流れに関する丁寧な説明や分かり易い募集案内の作成等に努めるとともに、記載内容や添付書類についても、引き続き簡素化を進めるための工夫を検討していきます。

18 BCP策定への支援

【回答】本市では、市内中小企業、団体に対し、BCP作成のための入門セミナーや無料アドバイザー派遣を行っており、その際に、経営資源である経営者、担当者等の代替計画も含めた計画の策定をアドバイスしています。平成27年度も、セミナーなどで策定企業の事例を紹介するなど、経営基盤の強化に繋がる実践的な策定支援を、引き続き進めて行きます。

19 横浜産貿ホール運営事業の継続受託について

【回答】横浜産貿ホールについては、民間団体ノウハウやネットワークを活かした効率的な運営を期待しています。また、利用に際して支障が発生する恐れのある修繕や安全確保、利用促進のための施設改善などについては、平成27年度に神奈川県を含めた三者で交わす覚書に基づき対応していきます。

20 中小企業支援の一環として、従業員の子の保育園入園に係る優先措置の検討

【回答】本市では、利用調整基準に基づき、保育の必要に応じた優先順位により、保育所等の利用調整を行っています。現状、利用定員を上回る申し込みがある中では、中小企業従業員の子どもであることを事由とした優先措置を設けることは困難です。

21 企業単位での健康づくり事業への参加、及びメンタルヘルス取り組みへの支援

【回答】よこはまウォーキングポイント事業の企業参加については、平成27年度から企業の事業所単位での申し込みも受け付け、働く世代の皆様にも積極的に参加の呼びかけを行います。申込受付期間は、平成27年6月1日から平成27年8月25日までとしています。

本市の健康増進計画である「第2期健康横浜21」では、取組テーマのなかに生活習慣の改善分野の1つに「休養・こころ」をかかげ、成人期の行動目標を「睡眠取ってしっかり休養」としています。各区福祉保健センターを地

域の健康づくりの拠点として、市民の健康行動につながる啓発を行うとともに、地域の様々な関係機関・団体と連携して健康づくりに取り組みやすい環境整備を行っていきます。

また、従業員の健康づくりに積極的に取り組む「健康経営」企業を増やすため、健康経営の概念を普及します。さらに、「よこはま企業健康マガジン」を配信し、セルフケアの紹介、産業保健総合支援センターなどの相談機関等の周知や、企業の中で従業員の健康づくりを支援する役割を担う「よこはま企業健康推進員」を養成していきます。

22 国道357号線の八景島 横須賀市夏島及び同以南への延伸

【回答】国道357号の横須賀市方面への延伸は、引き続き早期整備を国土交通省に要望していきます。

23 横浜横須賀道路金沢支線通行料金の改定

【回答】現在、国において高速道路料金体系の見直しの検討が始まっており、その中で「整備された経緯の違いから路線毎に料金体系が異なる」ことは課題とされています。

ご要望の横浜横須賀道路は、金沢支線も含めて東日本高速道路株式会社が国の許可を受けて、管理・料金徴収を行っている自動車専用道路です。本市としてもご要望には東日本高速道路株式会社へお伝えするとともに、国における検討においてもご要望の主旨が反映できるように、また一層利用しやすい料金体系とするよう、機会をとらえて要望等を行っていきます。

24 圏央道：釜谷谷ジャンクション～藤沢インターチェンジ間の早期開通

【回答】圏央道の一部となる横浜環状南線及び横浜湘南道路については、平成25年度から本格的な工事に着手し、平成27年度から全区間で工事を実施する予定です。今後も事業者である国や東日本高速道路株式会社と連携し、平成32年度の開通に向けて事業を推進していきます。

25 工場の耐震診断への助成

【回答】本市では、一般住宅の他にも昭和56年5月末日以前に建てられた一定規模以上の区分所有マンションや店舗、事務所などといった建物についても耐震診断、改修工事などの助成制度を実施しています。

工場については、多数の方が利用し避難上の安全性を確保する必要がある3階以上かつ1,000平方メートル以上のもの、または地震時の建物倒壊により道路の通行や円滑な避難が妨げられることを防ぐため、本市が定めた災害時の重要道路の沿道に建つ一定高さ以上のものなどに該当すれば、助成制度をご利用いただけます。耐震診断などをお考えの場合は、ご相談ください。

【平成 26 度合同地区懇】

2月6日(金)株松尾工務店5階講堂で開催、参加者41人。「スマートシティを取り巻く環境(スマートメーター)と新ビジネスの可能性」の演題で、東京電力(株)カスタマーサービス・カンパニー スマートライフ技術グループマネージャー森村和三氏にご講演いただき、その後、講師を囲み懇親会を行いました。



講演中の森村講師 講演会風景



懇親会 中締め風景

第33回通常総会・平成27年度市長/会長表彰式の開催

5月26日(火)16時時半から、横浜駅西口のホテル横浜キャメロットジャパンにおいて第33回通常総会・表彰式・懇親会を開催しました。当日の出席者をご来賓を含め132人でした。

通常総会では、役員改選が行われ全役員が続投となりました。

続く表彰式では、最初に昨年、対象者が多数のため表彰を2回に分けることになり、今年その残りの企業を含めた「横浜市優良工業事業所」38社の市長表彰を行い、次に「優良工業従事者」14人の市長/会長表彰を行いました。



表彰者等を囲んで優良工業事業所表彰受賞の皆さん

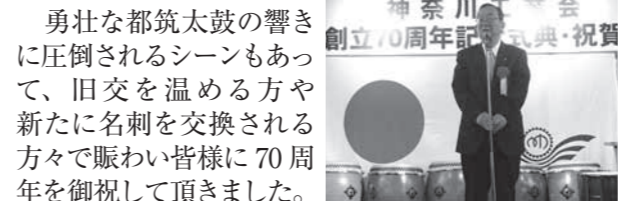


表彰者等を囲んで優良工業従事者表彰受賞の皆さん

■創立70周年記念式典を開催いたしました。

5月29日(金)、新横浜国際ホテルにて70周年記念行事を開催いたしました。

御多忙の中、地域工業会の会長、副会長様にも御出席頂きまして、全体で110名を超える御参加を頂きました。



■平成27年度総会を開催いたしました。

創立70周年記念行事と同じフロアで第70回総会を開催いたしました。

第1号議案～第4号議案を承認していただき、27年度が動き出しました。

■京浜臨海部再生整備勉強会

4月16日(水)横浜市が進める「京浜臨海部再生整備マスタープラン」及び地元の「東神奈川臨海部のまちづくり」について横浜市都市整備局大石課長からスライドによる判りやすい御講演を頂き、質疑応答を交えて勉強会を開催いたしました。

説明の中でも神奈川工業会の東神奈川臨海部と相鉄新線、東急、JR東日本乗入れによる羽沢駅周辺や港北区の綱島駅周辺の予想図が示され、変貌を予感しました。

■見学会

(1)昭和電工(株)川崎事業所 KPR 施設見学会

2月17日(火)に当会副会長の昭和電工横浜事業所、福永副所長のお取計らいで、表記施設の見



学会を開催いたしました。

昭和電工(株)の川崎事業所に設備されたアンモニアを抽出する新技術でんご盛りの新鋭エコプラントで、廃棄物が算出されない構造となっており、原料の加工所に併設された研修室で説明を受けました。

入札で自治体から購入するという原料のプラスチックごみを窓越しに加工する動きが見えたあとの工程はアンモニアガス他を製造するためのパイプラインになっており、パイプが縦横に張巡らされた構内と、そびえ立つ分解タワーが象徴的でした。

アンモニアは様々な樹脂加工に必要なガスなので、リサイクルに非常に有効なプラントという感銘を受けました。

記念館見学を含めてバスで大島クラブへ移動し、ふぐ鍋フルコースを賞味。大変な盛り上がりを見せて散会いたしました。



(2)神奈川臨海鉄道(株) 横浜本牧駅見学会

神奈川臨海鉄道は川崎塩浜と横浜本牧に貨物施設がある臨海鉄道ですが、市工連事務局長会に三好横浜支社長様が貨物の説明にお出

でになったのを機会に、現場の見学をさせていただける事になりました。

現在、貨車に積む貨物はコンテナ化されておりますが、旧国鉄規格と国際規格の海上コンテナがあってそれにあった貨車を手配して積込む、羽沢貨物駅との連携などのお話をお聞きして広い構内で、貨物列車の分割、本牧ふ頭駅に出発する列車を見学後、わざわざ機関庫の外に出していただいた保存蒸気機関車 C56139 号を見学させていただきました。



神奈川工業会



会長 小菅 光良

神奈川工業会は下記の委員会を中心に事業を推進し、会員のメリットを追求します。

- ・総務委員会 活動全般の企画、調整
- ・例会委員会 経営委員会、会員交流委員会と連携して展開
- ・経営委員会 経営に資する事業の展開
- ・広報委員会 積極的な広報事業の展開
- ・会員交流委員会 会員の交流・親睦の推進
- ・会員拡大委員会 新規会員の入会促進

〒221-0002 横浜市中神奈川区大口通130-1 横浜信用金庫大口支店3F
電話 045-401-4324 FAX 045-401-4394 e-mail:kdfycia@nifty.com URL http://www.kdfycia.com



おいしく、たのしく、すこやかに

森永製菓は、企業としての成長と子どもたちや社会の成長をサポートする社会貢献を企業活動の両輪として取り組んでいます。



http://morinaga.co.jp 森永製菓株式会社



みなと工業会

(西区・中区)

26年度「総体的に実りのあった1年と総括」
27年度「経営活動にお役に立つ事業を推進」
第32回通常総会が開催されました！

5月14日(木)17時より、横浜国際ホテルにて9名のご来賓をお招きし、67名の出席で「第32回通常総会」が開催されました。

平成26年度の事業報告では、多彩なゲストを招いての朝食会をはじめ、各種事業も含め総体的には実り多い1年であったと総括しました。

平成27年度事業計画は、企業を取り巻く環境も厳しさを増しており、加盟する諸団体への対応もシビアになってきている事から、日常経営活動にお役に立つ事業を推進する事で確認されました。



【平成27年度の事業予定】(6月～)

- 6月16日(火)第276回朝食会
「コンシェルジェとして『ノーと言わない接客術』
(株)高島屋横浜店 ザイナ・シャフマイエーワ氏
- 6月17日(水)第98回異業種交流サロン
- 6月18日(木)「マイナンバー制度セミナー」
- 7月21日(火)第277回朝食会
「職場におけるメンタルヘルス対策について
～法改正に対応して～」
- 中防災 健康快適推進部支援課
心理相談員産業カウンセラー 水沼 今日子氏
- 7月22日(水)第99回異業種交流サロン
- 8月5日(水)納涼事業

プロの「和太鼓演奏&トーク」(仮称)
9月15日(火)第278回朝食会
「横浜市の防災対策と企業が講ずべき事項」(仮称)
横浜市危機管理局



- 9月16日(水)第100回異業種交流サロン
- 10月8日(木)見学会
「日産自動車座間記念庫ヘリテージコレクション」
「リコーインダストリー(株)厚木事業所」
懇親会「大珍樓新館」
- 10月20日(火)第279回朝食会
- 10月21日(水)第101回異業種交流サロン
- 11月17日(火)第280回朝食会
- 11月18日(水)第102回異業種交流サロン
- 12月 経営者セミナー&忘年会
- 12月15日(火)第281回朝食会
- 12月16日(水)第103回異業種交流サロン



- 【平成28年】
- 1月21日(木)「平成27年新春賀詞交歓会」
 - 2月16日(火)第282回朝食会
 - 2月17日(水)第104回異業種交流サロン
 - 3月15日(火)第283回朝食会
 - 3月16日(水)第105回異業種交流サロン



FEPSは発電所から需要家までの電力供給網全域をカバーする総合電力部品のメーカーとして社会インフラ事業に貢献して参ります。

古河電工パワーシステムズ株式会社

本社 〒225-0012
神奈川県横浜市青葉区あざみ野南二丁目11番16号
URL <http://www.feps.co.jp/>
お問合せ (045)910-2810 FAX (045)910-2811 またはHPよりお問合せください。



南工業会

(南区)

《平成27年度第33回通常総会開催》

平成27年5月18日(月)、ホテル横浜ガーデンにて開催しました。会長の挨拶のあと、審議に入りました。本年度の事業計画の案では、新任の島田副会長からは当工業会の活性化を狙い画期的な提案がありました。

当工業会は設立33年を迎えますが、現在の会員数は設立時比50%の91社に減少。今期は工業会存亡の正念場として覚悟し工業会改革案3本の目標の発表がありました。

一つ目

組織改革を行い理事会を活性化、改革案を論議して具体的な方針を決定する。

二つ目

現在の会員の業種は工業に限らずサービス業、飲食業など他業種に亘っている。その現実を考慮し地域異業種の集合体に相応しい、工業会の名称変更も視野に入れる。

三つ目

地域行政との密接な関係を活発化する。それには南区の行事などに積極的に参加し、当工業会が南区と一体になり地域貢献を大切に運営することを目標とする。

三本の目標を達成することによって、当工業は南区の為にも貢献出来る工業会であり、地域との関係を大切にとの大幅な意識改革を目指し魅力のある工業会作りに取り組み、ひいては会員増強にも繋がると思います。

南区に特化した組織にして、会員の皆様が率先して参加できる参加型の工業会へと変貌しますとの基本方針を力強く述べました。

平成27年度は改革案をまとめ、二年目の平成28年度具体的に実行するとの決意の表明もありました。今般の総会にて役員改選があり、齋藤会長、大坪・横山副会長の続投と島田新副会長と三役も決まり、執行部のリーダーシップに期待するところです。

総会終了後に懇親会を開催。中島南区長様を始め地元選出の議員団、市経済局、消防、警察の来賓の皆様を前にして齋藤会長の冒頭のご挨拶は南区の為「いい汗をかいて、工業会の会員でよかつた」と思える工業会に変革しますと言葉強く所信表明がございました。この会長の言葉に来賓の中島区長様のご挨拶では「この様な総会に出席したことはございません。南区行政を司るのに、力強い応援を頂きとても感謝します」とのお言葉をいただきました。これからの二年、期待が膨らむ総会となりました。



南工業会

「地域密着型」の心地よい・小回りの利く工業会を目標に！

会長 齋藤 隆正 株式会社 ワイシー・ドキュメント

副会長 横山 敦子 (株)カンザイ	副会長 島田 秀世 (有)松島旅館
副会長 大坪 久己 大坪工業(株)	会計理事 橋本 祐二 日本濾水機工業(株)
幹事 石田 猛 神中工業(株)	幹事 佐々木 哲夫 佐々木哲夫税理士事務所

◇平成26年度下半期から現在まで

稲村新会長になり早くも1年が過ぎました。コミュニティー部も引き続き活発に行なっており今年に入りゴルフ会は1月、3月に磯子カントリーにて行いました。2月1日には吾妻山公園(神奈川県二宮)にて自然を楽しむ会「菜の花と富士鑑賞」、3月13日 ボウリング大会と懇親会(赤い風船ボウリング場、居酒屋かもん)、また地域貢献として港南区ランニング大会へ参加協力をさせて頂きました。

5月21日に27年度 第34回総会が上大岡 ウィリング横浜で行われました(会場の都合で総会会場が通常より狭くなりご不便をかけたことお詫びいたします)

その他6月18日には国会図書館、国会議事堂等の見学会を実施致します。以上、主な実施状況と振り返りでした。

横浜市長彰の優良工業従事者表彰

高山 広志様 株式会社 遠藤精機
尾身 秀之様 株式会社 ヘルツ
星 利樹様 株式会社 ヘルツ
の3名が受賞されました。



齊藤貴子港南区長、稲村会長と市長賞受賞の皆様
(広報情報部理事 橋爪 重信)

第34回通常総会・懇親会の開催

稲村会長の新体制で初めて迎える総会が、5月21日(木)に上大岡のウィリング横浜にて開催されました。来賓11名、会員は50名を超える出席でした。高梨副会長のご厚意でご来場の方々へのお茶のおもてなしが開会前にありました。当会のおもてなしの心は、健在です。

稲村会長が挨拶の中で港南区工業会の伝統であります会員間交流を担当するコミュニティー部の更なる内容の充実を図ること、地域の色々な団体の活動に積極的に関わり参加する事。又、他工業会と行事の参加交流を深め連携をしていくなど、地元港南区の地域に積極的にかかわり貢献していく旨を表明されました。上程された議案は滞りなく可決されました。議案報告時に今回よりプロジェクターの投影画像を用いて円滑な審議を行う試みを行いました。次回は今回を踏まえ準備し、よりわかりやすく円滑な進行になるよう努めてまいります。

恒例の優良工業従事者市長表彰者3名に港南区長齊藤様より表彰状と記念品が授与されました。

終了後、隣室にて懇親会が開催され和気あいあいとした中楽しく時間が流れていき、盛会のうちに閉会となりました。

最後になりましたが、ご参加いただいた皆様のおかげさまを持ちまして無事審議がなされたことを御礼申し上げます。次回総会にはより多数の会員の皆様の出席を賜りより盛会になることを祈念しております。

(総務部長 成澤 宏)

【第16回通常総会を開催】

——新会長に遠藤昇氏を選任——

保土ヶ谷・旭・瀬谷の3工業会が合併して横浜西部工業会が発足してから16回目の通常総会が、5月25日(月)午後3時30分から、ホテルキャメロットジャパンで、来賓に横浜市経済局の近藤健彦ものづくり支援課長、横浜市工業会連合会(市工連)の榎本英雄会長ほか横浜市及び市工連職員をお迎えし、開催されました。

議案は、平成26年度事業報告・収支決算報告、及び平成27年度事業計画(案)、収支予算(案)並びに市工連の役員改選時期に合わせ、今期選任役員任期を3年とする会則の改正案で、いずれも異議無く承認・可決されました。

最後に任期満了に伴う理事・監事並びに正副会長の選任が行われ、退任を表明された松田会長の後任として遠藤昇理事が新会長に選任されました。

【優良工業従事者を表彰】

引き続き、優良工業従事者の表彰式が行われました。

菅井忠彦保土ヶ谷区長、濱陽太郎旭区長、薬師寺えり子瀬谷区長にもご出席いただき、横浜市長表彰状が菅井保土ヶ谷区長から4名に、工業会会長表彰状が松田会長から9名に、それぞれ記念品を添え授与されました。最後に菅井区長か



ら受賞者にお祝いと激励の言葉が贈られました。

【懇親会を盛大に開催】

午後5時10分から、来賓を含め75名のご出席のもと懇親会が開催されました。

遠藤新会長及び松田前会長のご挨拶に続いて地元3区の市会・県議員を代表し小粥康弘市議員、薬師寺瀬谷区長、近藤経済局課長からご挨拶をいただき、濱旭区長の乾杯のご発声で懇談に移りました。場内は和やかな交流の輪が広がり、盛大な会となりました。



遠藤昇新会長

【横浜市経済局との意見交換会を開催】



4月23日(木)午後3時から、JA二俣川支店会議室で、近藤健彦横浜市経済局ものづくり支援課長ほか担当係長等のご出席を得て、14名の会員と意見交換会を行いました。

近藤課長から、横浜市経済局関係の平成27年度予算の特徴及び重点実施事業等について説明を受けた後意見交換に移り、活発な質問や要望意見が出され大変有意義な意見交換会となりました。

港南区工業会

会員に「工業会に入っていてよかった」と喜ばれる当会は、異業種も含む会員間のコミュニケーションを深め、趣味同好会での組織強化を図りつつ、会員のメリット、地域社会への貢献を目指しています。

会長 稲村 直之 有限会社稲村建具

副会長 鈴木 清	港南テクニクス(株)	会計 渡部 昭男	(有)三ツ矢鋼業
副会長 高梨 徳	(有)高梨鉄工所	総務部長 成澤 宏	清水橋クリニック
副会長 高井 軍造	(株)ニッシン電子	コミュニティー部長 達知 剛志	(株)プレスビット
副会長 江藤 忠勝	(有)龍昇堂	広報情報部長 齋藤 保	(株)イータウン
副会長 平野 裕之	(株)平野製作所	渉外部長 岩谷 憲和	(有)一建テック

ホームページ

港南区工業会

検索

E-Mail: jimukonan-k-it.jp

アイデアの詰まったボックス、ここにあります。

寺井印刷工業株式会社

〒241-0822 横浜市旭区さちが丘3番地 TPビル
電話 (045)391-5083 FAX (045)391-5385

ステンレス装飾金物専門

ステンレスパネル・ステンレス手摺・モニュメント

建築金物製作施工

SK 横浜ステンレス工業(株)

本社工場 〒246-0008 横浜市瀬谷区五貫目町16-8
TEL (045)921-2869 番(代表)
FAX (045)921-1798 番
E-mail: ysk.co.ltd@garnet.broba.cc

平成 27 年度 第 43 回総会を開催

5月29日(金)にホテル横浜ガーデンにて39名出席のもと第43回総会を開催しました。

議案は、平成26年度事業報告、決算・会計監査報告、ならびに任期満了に伴う役員改選(案)、平成27年度事業計画(案)、予算(案)で、全議案に対して特に異議なく承認可決され閉会となりました。

横浜市優良従事者市長表彰式を挙行

総会后、優良工業従事者の表彰式を執り行いました。表彰式では、小林正幸磯子区長から受賞者に表彰状を、山崎会長から記念品をそれぞれ授与して頂きました。小林区長から「今後も横浜市の発展のためにご尽力をお願いしたい」とのご祝辞を頂き、受賞者から「今後も横浜市の発展に微力ながら貢献していきたい」という力強い謝辞で、表彰式が締めくくられました。



講演会の開催

表彰式に引き続き、第三部として、はまぎんこども宇宙科学館館長の的川泰宣氏に「この国とこの星と私たち」と題して講演いただきました。的川氏は小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクトのメンバーで、映画「はやぶさ/HAYABUSA」で西田敏行が演じた的場康弘のモデルとなった方です。講演では宇宙の話や「はやぶさ」の苦労話についてお話しいただくとともに、伝えたいこととして「日本のモノ作りの素晴らしさ」「適度な貧乏と未来への高い志」にお話し頂きました。講演を拝聴した参加者はプロジェクト成功のためには、改めて「高い目標」と「高い志」が必要と再認識した講演となりました。

懇親会の開催

第四部の懇親会は、磯子区役所をはじめ市経済局、磯子警察署、磯子消防署、市工連の皆様、国会・県会・市議員の方々を来賓に迎え開催しました。山崎会長より冒頭、「会員同士がこうした場で磯子区をより良くするためのアイデアを積極的に話し合い、区に対して提案していきたい」との挨拶で会がスタートし、活発な意見交換が行われました。

磯子事業会

235-0036 磯子区磯子3-5-1

会長 山崎 晃 (三共技研工業株式会社)

【役員企業】

三共技研工業(株)
(株)新興プランテック
(株)サカクラ
電源開発(株)
日興テクノス(株)
横浜セレモ(株)

(株)IHI
(株)石辺製作所
シティー開発(株)
東京ガス(株)
丸新飲料(株)
リバースチール(株)

日清オイリオグループ(株)
磯子区商店街連合会
JX日鉱日石エネルギー(株)
(株)東芝
(株)村山製作所
高栄企業(株)

(横浜市金沢団地協同組合)

通常総会及び優良工業事業所表彰式

平成27年5月29日 横浜市金沢団地協同組合第43回通常総会が行われた。榎本理事長は、開催の挨拶の中で、本年度の活動方針として鳥浜の防災態勢の構築及び環境改善をさらに推進していくことを挙げた。さらに、横浜市及び金沢区と連携を密にし、大震災発生時、相互に共助する態勢を整備していくと述べた。

議事の審議が終了後、平成27年度優良工業事業所の市長表彰が実施された。本年度は、10社が優良工業事業所として選考され、市長代行の横浜市経済局林局長から賞状が手渡された。



平成 27 年度優良工業事業所

総会終了後には懇親会が開催され、その席上では、鳥浜バス通り花壇コンテストの表彰が行われた。これは、花壇整備の努力を賞したものであり、優秀花壇として4社及び特別賞の県立金沢養護学校が、榎本英雄理事長から表彰された。



平成 27 年度花壇コンテスト表彰

(金沢中央事業会)

6月8日に第32回通常総会が滞りなく行われ、平成27年度が始まりました。

前年度、退会会員もありましたが、今年度に入り、それを上回る入会があり、上向きな気持ちで新年度を迎えられました。早々、8月には、施設見学会として、日産自動車追浜工場見学を予定しています。また、ゴルフ親睦会も計画中、暑くなる時期ですが、会員の皆さんの積極的な参加を期待しているところです。

世の中では、景気が上向きという話を耳にしますが、早く多くの中小企業に、その流れが向いてくることを期待し、工業会の活性化を願うばかりです。



(一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会)

一般社団法人
横浜金沢産業連絡協議会
(産業振興センター診療所)

この度、新所長を迎えフルリニューアルを
しました産業振興センター診療所です。地域
勤労者・住民の皆様により利便性良く、また
快適に利用していただくため、営業時間の変
更や内装をリニューアルしました。営業時間
8時30分から13時まで、16時から18時
まで通常の診療や各種健康診断を行って
いますので、お仕事前や休憩時間、お仕
事帰りに立ち寄れます。内装も一新し、
明るい待合室やプライバシーに配慮した
診察室などに変更してあります。



新所長は内科疾患の臨床経験が豊富で、
内科疾患全般の診察を行っています。特に
循環器疾患なかでも不整脈の専門医であり、
豊富な治療経験を有しております。また
ペースメーカー手術の経験も豊富であり、
切創などの縫合など小外科手術にも対応
しております。検査機器も心臓や腹部など
の精査可能な超音波

診断装置や、いわゆる”血管年齢のわかる
血圧脈波検査装置、睡眠時無呼吸症候群の
診断に必須のポリソムノグラフィーなど
を導入しました。

経営理念

当クリニックは、地域住民・地域勤労者
の皆様が心から頼れるクリニックとして、
質の高い医療を提供することにより、健康
増進および疾病の早期発見・管理を行い、
また快適な環境で健康に仕事ができるよ
うにサポートすることを経営理念とする。

新所長 松下浩平よりご挨拶

私は約15年間横浜市立大学附属病院で
循環器疾患、特に不整脈疾患を中心とし
て診療・研究・教育を行いつつ、地域の
病院・クリニックで一般内科診療のお手
伝いをさせていただいておりました。循
環器疾患の多くは生活習慣と密接にか
かわっており、糖尿病や高血圧など生
活習慣病の診療も多く経験させていただ
くなか、疾病の発症予防・早期発見、
適切な管理の重要性を痛切に感じてお
りました。このたび産業振興センター
診療所をリニューアルオープンすること
となり、上述の経営理念のもと地域住
民の皆様・勤労者の皆様が気軽に立ち
寄り、気軽に相談できる診療所を目指
したいと存じます。地域の特性から健
康診断・産業医活動も積極的におこな
っておりますので、そちらのほうも
お気軽にご相談ください。よろしく
お願いいたします。



産業振興センター診療所
Industrial Development Center Clinic

内科 循環器内科 外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	休診日
8:30~13:00	●	●	●	●	●	/	/	土曜・日曜・祝日
16:00~18:00	●	●	●	●	●	/	/	

045-782-3321
http://idcc.jp



工業会 便り 一般社団法人横浜北工業会

(港北区・緑区・青葉区・都筑区)

会員企業への貢献を目指して 【平成27年度新規事業】

会員の多くがものづくり企業である横浜北工業会は、日本の技術から生み出された製品を必要だ
と言ってくださる人たちがいるうちに、その目的・使
命を果たすべくこれまで以上に努力をして、会員
企業を支えていかなければならないと考えていま
す。

そこで、平成27年度は予算を見直し、新規事業
として6事業に取り組み、会員企業の経営に具体
的に貢献するよう努めてまいります。

1. 北工業会ホームページ (HP) の改革

受発注ニーズに対応した会員企業の業種別整理
やHPへのリンクを再構築するとともに、会員企業
にはIDを交付し、工業会の詳細活動の周知、意
見交換の場づくりや経営に資する支援制度等のほ
か従業員の方へのサービス・イベント開催などを、
適時に提供できる環境に一新する。

2. 慶応大学・横浜市・北工との3者間産官学連 携事業の推進

三者間の協定締結後、具体的な活動に結び付け
るための、意欲ある会員企業の発掘及びコーディネ
ーター派遣等支援体制の確立など、横浜市及び
企業経営支援財団との連携強化を推進する。(当
期の半期の目標)

4~6月 北工研究会の立ち上げ、活動の方向性
についての3者協議

7~9月 慶応大学理工学部教授及びコーディネ
ーターとの意見交換と交流会経済産
業省関係者との事業構築に向けた意見
交換慶応大学教授・コーディネーター
による北工会員企業の訪問交流

3. ランチョンセミナー (年間6回) の開催: 新 横浜国際ホテル ランチで2時間

昼食を取りながらリラックスした中で、テーマを
定めたセミナーと自由にディスカッションし、共に
学ぶことのできる場をつくる。(検討しているテ
マ)

- ①慶応大学との産学連携 ②マイナンバー制度
- ③電力量の節減 ④中小企業のマーケティング戦略
- ⑤中小企業の海外事業展開支援制度とその活用
- ⑥女性から見た中小企業の魅力 ⑦金融機関
からみた中小企業経営の評価 ⑧中小企業経営と
職員の福利厚生 ⑨議員との懇談会 ⑩行政の支
援制度 ⑪地域開発の展望 ⑫会員企業のPR
- ⑬年金問題、等々

4. 会員企業による信頼できる・良質なサービス を提供するネットワークの構築

会員企業の働き甲斐のある職場づくりに貢
献するために、様々な業種の会員企業に参加いた
だいて、従業員の方々の福利厚生の充実にむけ、
信頼できる・良質なサービスを提供するネットワ
ークを構築する。

5. 会員企業に対する労務・法務・税務等の問題 の解決のための相談体制の整備

社会保険労務士 (企業の就業規則等労務問題、
個人の老後計画・年金問題)
法律事務所 (民事・家事等の法律問題) 国際特
許事務所 (特許出願代理事務)
公認会計士・税理士事務所 (法人税・消費税・
相続税等全般)
ハーバーウエルスマネジメント (ファイナン
シャルプラン)

6. 若手会の支援・連携強化

若手会独自の活力ある活動の支援及び工業会と
の事業連携を強化する。



一般社団法人 横浜北工業会

会長 秋本 順生

〒226-0011
横浜市緑区中山町324-10 なかやまラプニール会館2階
電話 045(929)5757
E-mail: y-kitako@arion.ocn.ne.jp



戸塚泉栄工業会

(戸塚区・泉区・栄区)

戸塚ものづくり自慢展

昨年好評を頂き今年も戸塚区役所と合同で昨年に続き第2回目の「戸塚ものづくり自慢展」を開催し昨年より盛況に終ることが出来ました。

- ・開催日：2月20日・21日
- ・場所：戸塚区役所 3F 多目的スペース
- ・来場者数：2日間で1,500人
- ・実施内容：出店企業の商品及び技術の紹介
- ・参加企業：12社

- ①(株)京成電子
- ②かがつう(株)
- ③大洋建設(株)
- ④日本貿易印刷(株)
- ⑤日本自働精機(株)
- ⑥(株)大倉陶園
- ⑦おいしいもの・戸塚ブランド
- ⑧かもめプロペラ(株)
- ⑨(有)工研
- ⑩(株)横浜ルテラ
- ⑪(株)仙北谷
- ⑫(株)銚子屋



開かずの「戸塚大踏切」解消

戸塚駅大踏切は長年の間、朝6時から9時(3時間)・夕方4時から夜9時(5時間)迄の合計1日8時間、遮断機が降りっぱなしの“開かずの踏み切り”として全国に名を馳せておりました。また踏切が開いても1時間のうち30分以上も遮断される時も多くあり、1日も早い踏切解消を望む声が高まっておりました。

この度、区民を始め踏切を利用する関係者の願いが叶い3月25日に「戸塚アンダーパス」が完成し踏切なしで通行できるようになりお陰様で時間の短縮と安全が確保される様になりました。

- 工事期間
 - ・平成17年12月 戸塚アンダーパス工事着工
 - ・平成24年3月 戸塚アンダーパス工事完了
- 総工費
 - ・370億円



新入会員紹介(平成26年4月～平成27年3月)

新会員企業	業種
(株)トビーズ	不動産コンサルタント
(株)みずほ銀行戸塚支店	銀行
神奈川県立こども医療センター	病院
ユテクジャパン(株)	溶接・溶射材料の輸出入
(株)ディストル・ミュージックエンターテイメント	音楽事務所・音源製作



横浜青年経営者会

☆テクニカルショウヨコハマ 2015

去る2月4日～7日にかけてパシフィコ横浜にてテクニカルショウヨコハマ 2015が開催されました。青経会としてブースを構えるのも4回目となり、今回は過去に出展経験のある会員企業7社が参加致しました。継続して出展することで工夫を凝らし展示方法も進化したことで自社の強みをアピール出来ました。既に新規取引に繋がった企業も出ています。



☆新春セミナー

今年度は「滝(みず)に鍛えられ 温泉(みず)に癒される」と称し、2月20日～21日にかけて南足柄の山奥にて「滝行」に挑みました。水温3度の極寒の中、会長をはじめ12名の会員が滝に打たれました。その後は会場を箱根湯本に移して5名の新入会員紹介セミナーを開催しました。

☆今期の新役員体制

役職	氏名	企業名
会長	近藤 芳正	(株)ミカワ精機
副会長	山崎 一	(株)山喜
副会長	黒岩 勉	(株)羽後鍍金
副会長	岩谷 憲和	(有)一建テック
会計	河上 洋平	(株)中越工業
会計	廣井 邦光	(株)魚のぶ
監査	藤澤 秀行	(株)ニットー
監査	田島 圭一	(株)田島精研
理事	犬飼 啓	(株)東邦製作所



☆市長懇談会

4月13日の午後、当会会長を含む15名のメンバーが、横浜市庁舎応接室にて林文子横浜市長と懇談の場を持ちました。当会の概要や活動紹介、会員企業紹介などを市長にお伝えしました。久々の開催ではありましたが、短い時間ながらも充実した意見交換となり、是非定期開催に繋がりたいと感じました。



役職	氏名	企業名
理事	加藤 高智	(有)工研
理事	黒田 裕太郎	港南テクニクス(株)
理事	南川 拓也	(株)ミナミ技研
理事	杉田 勇	(株)関東精密
理事	本間 政貴	(有)本間製作所
理事	近藤 大輔	(株)ハルツ
理事	高橋 正徳	ヤマセ精機(株)
理事	鈴木 瑞貴	(株)オースズ
理事	中村 謙太郎	(株)中村製作所

オセアングループ

大洋建設

オセアンの大洋建設

検索



新入社員合同研修会

今年も帆船日本丸において4月9日から10日の1泊2日の日程で12社54名の新入社員の方々が参加して開催されました。この新入社員研修は第29回目を迎える市工連主催の伝統ある研修で、「帆船日本丸」でなければできない貴重な体験を通してチームワークの重要性・協調性・チャレンジ精神などを養い、企業人としての自覚と責任を引き出し組織の新戦力を育てる目的で行っております。



三波工業株式会社 ((一社)横浜金沢産業連絡協議会) 松村 正隆

この研修の最初に、社会人と学生の違いについて意見の交換があった。その時に出た意見で興味深かったのが、「社会人は学生よりも、ずっと多くの種類の人と関わるようになる」というものだった。実際、この研修も上は25才から下は18才までの多種多様な業務の人が受けており、今までの調子を通じないことに戸惑ったりもした。

しかし、そうした人とも宿泊やカッター訓練といった共同作業を通じて、次第にお互いの価値観や考え方を理解し合い、充実した研修を行うことができたと思う。社会人としての第一歩は、そう悪くないものだった。

私は、これから長きに渡って企業に勤めることになるだろうが、その中で初心を決して忘れないことをこれからの目標にすえようと思う。私の初心とは、「国家・社会に貢献する人になる」というものである。結局のところ、ビジネスマナーといったものを実施する動機は、全てこの一言で説明がつくものであり、初心を忘れなければ必ず立派な社会人になれる。というのがこの研修で出した結論となった。

これからの人生はいくつもの壁に当たるだろうが、初心を胸に強く生きていこうと思う。

共栄建機株式会社 (鶴見区工業会) 大城 渚

研修を行う前は、どのような意味でマスト登りやカッター訓練を行うのかよく理解できていませんでした。実際にやってみて、マスト登りではチャレンジ精神を身に付けるだけでなく、自分が怖いと思うものに勇気を持って挑む度胸も身に付けることができたと感じました。カッター訓練では、お互いに協力し、息を合わせないとボートが進まないこと、自分の手元ばかりでなく他の人のペースもしっかりと見ながら合わせていくことで一つの物事が達成されるのだと感じました。このようにカッター訓練では協調性を必要としましたが、それ以外に寝床を準備する際、一人でやるよりも二人一組になって行ったり、終わっていない所があれば手伝うことでそれぞれが一人でやるよりも協力すれば早く終わるということを改めて実感しました。今、振り返ってみるとこれらのことは、何よりも大切なものではないかと思えます。マナーや敬語の使い方なども大切ですが、それ以前に仕事をしていく上で、失敗を恐れぬ度胸、周りとの協調性、周りをしっかり見ることが大切だと改めて大切だと感じ、これから実践していきたいと思えます。他にもたくさん学ばせて頂いた事はたくさんありますが、少しずつ実践していきたいと思えます。

「新入社員合同研修会」カリキュラム

1日目	時間	場所	内容
4月9日(木)	8:40~9:00	訓練センター	受付
	9:00~9:15		オリエンテーション(日課説明、諸注意)
	9:15~9:30		開講式 挨拶 横浜市工業会連合会 会長 帆船日本丸記念財団 船長 職員紹介
	9:30~11:30		オリエンテーション、自己紹介 グループ討議(学生と社会人の違い、社会人とは) 相互確認(社会人にふさわしい第一印象を身につける)
	11:30~12:00		作業服に着替え(男性:第2教室、女性:小会議室)
	12:00~13:00		昼食
	13:00~14:00	船内見学(ビデオ鑑賞15分 船内見学45分)	
	14:00~15:20	日本丸	登橋訓練 (メインマスト、トップ台登橋)
	15:20~15:30	日本丸前	集合写真撮影
	15:30~16:30	訓練センター	練習(あいさつ、お客様対応) 個人ワーク「理想の社会人となるために必要なことは?」
	16:30~17:00		休憩
	17:00~17:30	日本丸	居室準備(ボンク(ベッド)メイク、居室の確認)
	17:30~18:00		防火避難訓練(避難経路の確認)
	18:00~19:00	訓練センター	夕食 グループ討議「理想の社会人となるために必要なことは?」 グループ発表&審査
19:00~21:00		入浴等	
21:00~22:20		移動(日本丸スタッフ誘導)	
22:20~22:25	日本丸	巡検(船内にて人員の確認)	
22:25~22:30	日本丸	消灯、就寝	

2日目	時間	場所	内容
4月10日(金)	6:30~6:40	日本丸	起床・体操
	6:40~7:20		甲板磨き(甲板に集合、椰子の実を使った甲板清掃)
	7:20~8:00		朝食
	8:00~8:45		居室整理(各部屋、公共スペースの掃除)
	8:45~9:30	訓練センター	講義「海に学ぶ(シーマンシップ)」 講師 日本丸船長
	9:30~9:40		休憩
	9:40~12:00		講義(社会人の基本マインド、社内コミュニケーション) 練習(言葉遣いと電話の受け方) ロールプレイング(報連相)
	12:00~12:45		昼食
	12:45~15:45	周辺水域	第1班A~D...カッター訓練、第2班A~D...結索訓練 第2班A~D...カッター訓練、第1班A~D...結索訓練 (ねらい) チームワークの重要性と連帯感・協調性をカッター訓練から会得
	15:45~16:00	訓練センター	私服に着替え、荷物整理(男性:第2教室、女性:小会議室)
16:00~16:30	「研修を受講して」の感想文作成		
16:30~17:00	口頭発表会		
17:00~17:10	閉講式(認定書授与・閉講挨拶①日本丸船長②講師③市工連)		

4/9



4/10



意欲の高い外国人技能実習生の受入れを通じて職場の活性化を図り、生産性の向上に繋げる他、優秀な人材を確保するため、3年間の社内実習で海外生産拠点の現地リーダーを育成する等、技能実習制度を活用する企業が増えています。

アイム・ジャパン技能実習プログラムの特徴

1993年の第一期生受入開始以来、累計42,000名以上のベトナム・インドネシア・タイ政府選抜外国人技能実習生を受け入れており、これまでの実績と経験を活かし、企業様・技能実習生をサポートいたします。



外国人技能実習制度を巡る最近の動き

— 2015年度中に技能実習制度が大幅改正予定！ —

技能実習制度の適正な運用と技能実習生の保護を目的とした「外国人の技能実習の適正な実施及技能実習生の保護に関する法律案」が今国会で審議中であり、可決した場合には、2015年度中に新たな技能実習制度がスタートします。制度の適正化が図られるとともに、技能実習期間を最大5年に延長するなど拡充策も盛り込まれています。

— 新たな受入職種が追加されました！ —

2015年4月1日、外国人技能実習生の受入れが認められる職種に、「牛豚食肉処理加工業・牛豚部分肉製造作業」「惣菜製造業・惣菜加工作業」「耕種農業・果樹作業」の3職種3作業が追加されました。

公益財団法人 国際人材育成機構 (略称/ アイム・ジャパン)

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-4-3新堀留ビル



政府選抜実習生育成企業様を募集しております。

実習生受入れ問い合わせ先

理事 藤川行江 TEL 03-5645-5622

資料のご請求はこちらから

<http://www.imm.or.jp/>